

チーフ・ストラテジスト 神山 直樹

Vol.3では、「潤いのある暮らし」を送るために「インフレ率+3%」のリターンを目指しましょう、リターンはリスクを取ったことに対する報酬、ということをお伝えしました。今回は、投資で取るリスクは賭け事ではなく、世界経済の成長に参加すること、ということについてお伝えします。

「潤いのある暮らし」のために リスクを取っても良い理由

リスク(振れ幅)があるから、「潤いのある暮らし」を送るための元手(お金)=収益(インフレ率以上のリターン)が期待できるのです。リスクのない普通預金などでは、インフレ率と同程度のリターンが得られても、それ以上に「潤いのある暮らし」のためのリターンは期待できません。一方で、リスクが高いのであれば、**前もって期待するリターンは高いはず...**。ここがポイントです。

リスクが高いのに、前もってリターンが低いと分かっていたら、誰も投資をしないでしょう。前もってリターンが期待できると思うからこそ、人は**リスクを取る**のです。もちろん、リスクが高いのに、**結果としてリターンが小さくなる**こともあります。この「前もって」と「結果として」の違いが、投資においてリスクを考える時に重要になるのです。

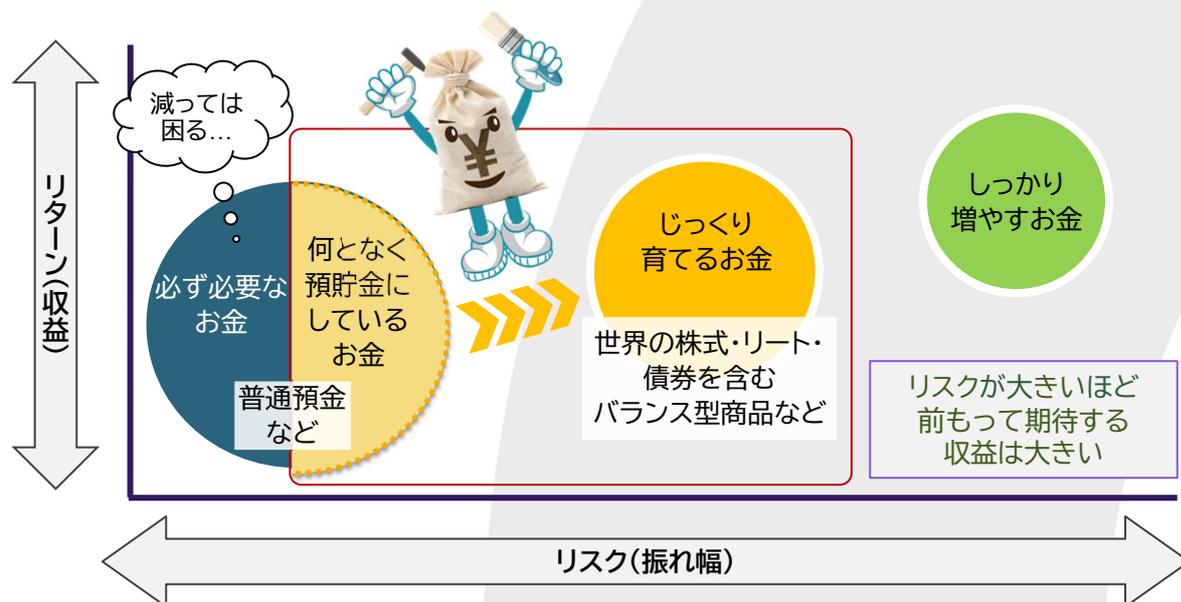
株式やリートを通じて世界経済の成長に参加する

投資で取るリスクは、世界経済の成長に参加することです。世界経済の成長は、その多くを企業(株式会社)が担っているのです、世界株式への投資でリスクを

取る代わりに、企業が利益を出せば配当などで受け取ることができるのです。株式投資のリスクは、突き詰めれば**会社の事業リスク**なのです。

例えば、新たな商品やサービスを提供しても、本当にヒットするかどうかは分かりませんが、**多くの人々の努力と専門知識などを活用することで、成功する可能性が高まる**でしょう。企業に**事業で収益を上げてもらい、配当などで返してもらう**、これが投資なのです。とはいえ、個々の企業の**事業リスクの度合いは異なる**ので、**幅広く世界中の企業の事業リスクを取る**ことにより、**世界の人々の努力と工夫の成果をリターンとして期待**することができるのです。

また、かつてフランスの貴族が農地を貸して収入を得ていたように、不動産投資はリート(不動産投資信託)で行うことができます。リートは保有するオフィスビルなどを貸して得た賃料が主な収入なので、例えば、空室が増えると収入が減る**リスク**があります。しかし、幅広くタイプが異なる物件を保有する分散型リートに投資すれば、**預貯金や債券よりも高いリターンが期待**できるのです。



※上図は考え方の一例を示すことを目的としたイメージであり、商品の利回りなどを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社